

NEWS

Vol.28

<http://www.jmdp.or.jp/>
<http://www.donorsnet.jp/>

●発行 平成18年(2006)7月5日
 財団法人骨髓移植推進財団
 ●発行責任者 正岡 徹(理事長)
 ●編集責任者 木村 成雄(事務局長)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7F
 Tel 03-5280-8111 / Fax 03-5280-0101

日本骨髓
 バンク
 の現状
(平成18年5月末現在)

登録者数
24万8340人

移植数
7,388例

CONTENTS

- 2 特集 3泊4日入院ルポ
 骨髓提供した方に密着
- 8 日本骨髓バンクの現状
- 10 トピックス
 巨人軍が骨髓バンク支援！
 本田美奈子さんがACキャンペーンに
 テレビ電話システムが好評
- 12 お知らせ
 ドナーズネットリニューアル
 原 監督サイン色紙プレゼント
 募金のお礼とお願い

読売巨人軍 原辰徳 監督

昭和33年7月2日生まれ。
 神奈川県出身。東海大相模高校、
 東海大学を経て昭和56年ドラフト
 1位で巨人軍入団。長距離打者として
 プロ入り1年目からレギュラーに定着し、
 新人王を獲得。2年目から4番をまかせ、
 中心打者として活躍する。平成7年現役引退後は
 巨人軍ヘッドコーチなどを歴任、平成14年
 から監督に就任、1年目で日本一になる。
 平成18年、3年ぶりに巨人軍監督に復帰。



登録をしようと思ったのは、ジャイアンツが骨髓バンクを支援するきっかけとなった高知県で行われている支援活動の話聞いたからです。なにか役に立てないかと周りに相談したところ、ドナー登録のことを教えてもらいましたが、骨髓バンクという言葉そのものはよく知っていませんでした。私自身もこれまでの野球人生、多くの人の力を借りて、支えられて今があると思っています。骨髓バンクがなけ

ドナー登録者が増えることを 励みにしてほしい！

INTERVIEW

読売巨人軍の原辰徳監督が先月、ドナー登録をしました。「患者さんの役に立ちたい」という監督自らの気持ちから実現したものです。プロ野球一の人気チームを指揮する立場でありながら、ドナー登録に踏み切った監督に心を動かされた方も多いのではないのでしょうか。登録直後の原監督にお話を伺うことができました。

これは治らない患者さんがいるとしたら支えてあげたいし、できることなら助けてあげたい。その具体的な方法がドナー登録だったんです。

球団を挙げての取り組みになったことは、社会的にとっても大きな意義となるんじゃないでしょうか。とくにジャイアンツは多くのファンに支えられているチームですから、影響力があります。ジャイアンツが骨髓バンクを応援していることを知って「じゃあ、やってみようか」と二歩踏み出すきっかけにもなればいいですね。骨髓バンクに理解を示してくれる人がひとりでもふたりでも増えてくれることを願っています。スポーツ界での支援が広がっていることも、同じ選手としては嬉しいことですね。

病氣と闘っている患者さんには、正直なところどういふ言葉をかけていいかわからないし、本当にむずかしいんですけど、どのような状況にいても希望や夢を持つてほしい。私が登録した直後に上原も登録したんですよ。きつとこれからもドナーは増えていくと信じて、ひとつの励みにしてもらいたいと思います。

巨人軍関連記事は
 1ページへ



献血ルームに来た原監督。リラックスした表情で採血を受けていました。

「入院してから何するの?」という疑問にお答えします

3泊4日入院ルポ 骨髓採取の現場



ドナー登録者の皆さまは、入院経験のない方も多はず。

「4日間も何するの?」「入院はしたことないから不安・・・」という声はよく耳にします。

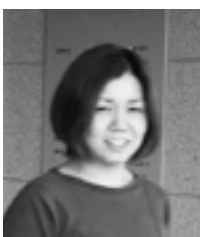
今回は実際に骨髓提供されたお二人のドナーさんに入院から退院までの4日間に密着しました。概ねお二人とも同じようなスケジュールで骨髓を採取をしましたが、病院によっては、若干違いがあります。ドナーさんの善意だけでなく、ご家族や周囲の方の理解と協力があってこそ提供に至ることができます。是非、ご家族の皆さままでお読みいただき、提供時の入院について理解を深めていただければ幸いです。



K.Tさん (37歳)

K.Tさん (37歳) は愛知県在住で会社勤めのサラリーマンです。

やることなく寝ていることが多いので、暇だな～と思いました。ただ、個室で看護師さんや担当医さんの対応も良く、思ったより食事もおいしかったので良かったです。



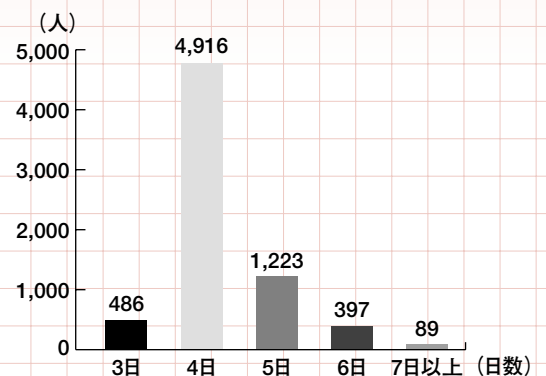
K.Yさん (30歳)

K.Yさん (30歳) は千葉県在住で二人のお子さんのお母さんです。

痛みはないと言えばウソになりますけど、すごく痛いわけではないですね。入院は出産のときに経験済みですが、やはり子供2人のことが心配でした。

骨髓提供者の入院日数

(1993年1月～2006年3月末までの集計データ)



入院は3泊4日が通常です。

7日以上入院となった89名のうち、約50%は採取病院の都合によるものです。残りの50%の方は健康上の理由により入院が予定より延長されました。グラフに含まれていない「海外ドナーから日本国内患者への累計移植件数」は、139名です。



消灯

夕食

検査

昼食

入院

1日目

21:00

19:00

14:00

12:00

10:00

START!



ワンポイント
アドバイス

入院する前は風邪をひいたりしないよう
体調管理に気を付けてください。

コーディネーターと待ち合わせします。

午前10時ごろ担当コーディネーターと病院で待ち合わせ、窓口で入院手続きを行います。ここで入院する病室が決まり、部屋へ移動します。個室であったり、相部屋であったりと病院によって違います。そのまま昼食は病室で食べました。

※ コーディネーターが夕方訪問する場合もあります。



10:00 入院

検査や医師からの説明があります。

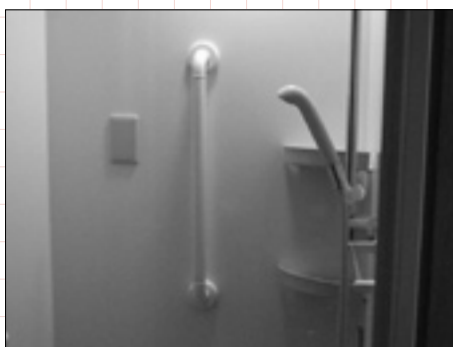
検査は心電図、検査用の採血、熱や血圧を測ったりします。時間は決まっていないので、順番が来たら看護師さんに呼ばれて検査室へ。その後、担当医から採取について説明を受けます。明日のスケジュール、全身麻酔のリスク、採取にかかる時間など、30分程度のお話でした。



14:00 医師説明

基本的には入浴できません。

夕方にはシャワーを浴びることができました。基本的には入院中は入浴できないので、シャワーを利用できます。採取後の洗髪などは看護師さんに相談しましょう。

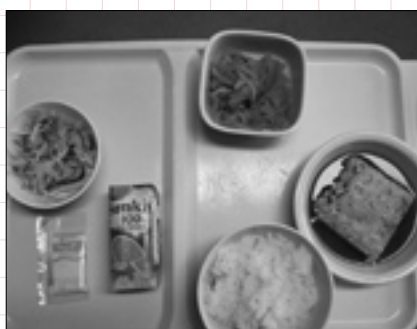


17:00 シャワー

なるべく早く寝ましょう!

消灯は午後9時。夜8時以降は何も口にすることができませんのでご注意ください。普段であれば起きている時間帯だと思いますが、明日に備えて早めに寝ることをお勧めします。緊張で眠れない方は、看護師さんに相談しましょう。

21:00 消灯



野菜中心でヘルシーです!

19:00 夕食

この日の献立表

- 中華オムレツ
- 切り干し大根
- サラダ(フレンチドレッシング)
- ごはん
- オレンジジュース

消灯

夕食

術後
アンケート

病室に戻る

採取

起床

2日目

21:00

19:00 18:00

13:00

10:00

6:00

朝食と昼食はありません。

採取当日は全身麻酔をかけるため、朝食を食べることはできません。専用の検査着に着替え、弾性ストッキング*を履きます。午前9時ごろ熱や血圧を測り、麻酔前の処置をした後、手術室へ向かいます。自分で歩いて行くか、ストレッチャーで向かい、手術室に入ってから麻酔をかけます。採取にかかる時間は、2～4時間くらいです。

※ 弾性ストッキングは、普通のストッキングと異なる特別な編み方で、足を外側から強く圧迫して血栓を防ぎます。



10:00 手術室へ



ワンポイント
アドバイス

術後はできるだけ安静に保ちます。
無理に歩いたりしないようにしましょう！

骨髄採取が終了したら、病室へ戻ります。

麻酔が完全に覚めるまで、ベッド上で過ごします。医師の許可が出たら、水分を取ることができます。尿道のカテーテルを夕方頃に抜きます。尿道の痛みや尿が出にくくなるがありますが、一時的なものです。



13:00 病室に戻る

夕方、コーディネーターが病室に伺います。

コーディネーターが病室を訪問し、術後のアンケートをします。まだ、麻酔の影響で頭がぼーっとしているドナーさんの負担にならないように、短時間で終了します。午後7時ごろやっと夕食を食べることができます。昨日の夜から絶食していますので、お腹が空いています。



18:00 アンケート

移植件数が増えたことによつて、どうしてもドナーさんにご協力をお願いしなければならぬことがあります。あるドナーさんは「こんなに大変だと思わなかった」とおっしゃっていました。お仕事をされていたり、育児で忙しいお母さんもうらやましますが、ご協力をいただいています。

また、最近ではコーディネーター件数の増加に伴い、確認検査と採取日程が重なつてしまい、私が担当だったドナーさんに別のコーディネーターが伺うこともあります。ドナーさんはみんな良い方ばかりで、感謝の気持ちでいっぱいです。

しかし、少しでもドナーさんの負担を軽減できるように努力したいと思っています。

野手明美

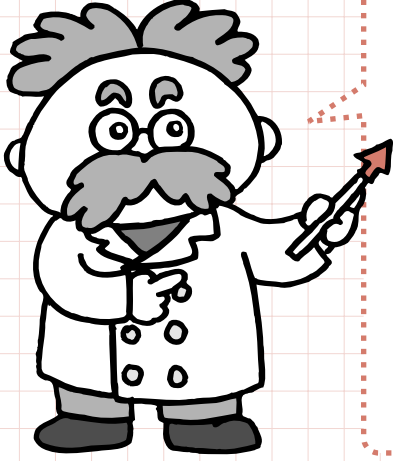
調整で苦労することもあります。ドナーさんや医療関係者の方に笑顔で「ありがとうございます」と言われると心が軽くなります。

コーディネーター INTERVIEW

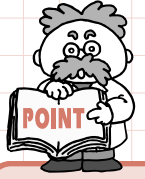
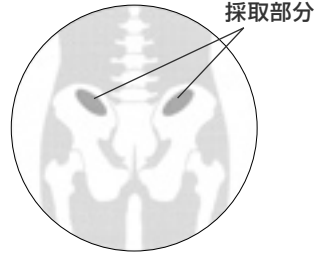
西尾 淑子

いろいろなドナーさんと接する機会がありますが、皆さんやさしく、ボランティア精神の強い雰囲気を持っていて安心します。

日程調整が厳しい中、ドナーさんには都合をつけていただいた大変だとは思いますが、皆さん協力的な方が多いです。中にはボランティアなので健診の時間など、自分の要求が通るべきだと思ふ人もいますが、なんとかご理解いただけるように努力しています。説明が曖昧ですと、誤解を招く場合がありますので、言葉遣いには気を付けています。



骨髄液は、骨盤を形成する大きな骨＝腸骨（腰の骨）から注射器で採取されます。手術室でうつ伏せになった状態で、骨盤の背中側、ベルトの位置より少し下に、皮膚の上から専用の針を数カ所（左右1～3カ所程度）刺して吸引します。術後は、採取部の消毒とガーゼ交換をします。痛みが強いときや熱が出た時は、鎮痛剤や解熱剤をもらうことができます。早めにお知らせ下さい。

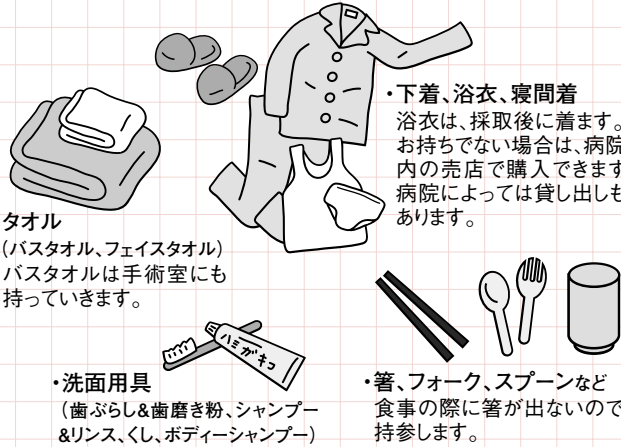


ワンポイントアドバイス

痛みはだいぶ取れてきて歩行できますが、無理は禁物です。

<その他必要なもの>

- 病院からもらった書類
- ティッシュ
約3日の入院ですので、ポケットティッシュをいくつか持っていけば足ります。
- T字帯
腰の部分に貼ったガーゼが落ちないように固定するものです。薬局などで購入できます。
- 飲み物
採取後一番最初に口にできるのは飲み物です。好きなものを冷蔵庫に入れておきましょう。
- 暇つぶしグッズ（雑誌、本、i-Podなど）
時間を持て余してしまうことが予想されます。中にはプラモデルを持ち込み、入院中に完成させた方もいるとか!



入院する時に必要なもの

1日目は11時に入院してから本を読んだりテレビを見たりして過ごしました。前日の晩にはあまり寝れなかったので、麻酔から覚めた時はあまり痛みもなくて薬も飲まなくて済みましたし、尿道カテーテルもなかったのでも回復も早いということでも安心しています。3日目はもう普通に歩けましたね。退院した2日後には職場には復帰しますよ。また、提供できる機会があればやろうと思っています。

仕事はまたまた忙しい時期ではなかったのですが、問題はあまりなかったです。会社側も協力的で、上司に話したらなんとかなるとのことでしたので安心しました。また自己血採血はなかったのでも病院に行ったのは、健康診断1回のみだったので、スケジュール調整に苦労したとは感じなかったです。

ドナー登録したきっかけは、会社で三年くらい前に保健所に行くと登録できるという案内が配られたので、してみようと思いましたが、半年くらい前にドナーに選ばれて、入院するかもしれないと会社の皆に言っていたので、理解はしてくれました。ただ、親が心配そうでした。「何かあったらどうする」と考えてしまうようです。自分でも書類を見せたり、コーディネーターさんも詳しく説明して下さったので大丈夫でした。



K.Tさん

入院のときは、母が子供の面倒をみてくれましたし、主人も協力的で病院まで車で送ってくれたり、採取のときも立ち会ってくれました。自分ひとりではできないことなので、家族には本当に感謝しています。

最初は母が登録したいと言っていて、その影響で私も登録しました。すぐに患者さんがみつかったと連絡があったので、びびりしました。でも、提供することには迷いはなかったですね。入院は出産のときに経験済ですが、やはり子ども2人のことが心配でした。採取前日もあまり緊張しなかったです。よく眠れました。手術室に運ばれたときも、あつという間でドキドキするヒマもありませんでした。採取しているときははずっと夢を見ていたみたいで、ふと遠くから名前を呼ぶ声が聞こえてきたんです。「何で起こすんだらう」と思いながら、目を開けるとすべて終わっていて、もともといた手術室が見えました。頭がぼーっとしていたものの、意識ははっきりしていました。腰の痛みはありませんが、思ったほどではありませんでした。採取の翌々日になると、普通に生活しているのとそんなに変わりはありませんでした。時間があつたので、雑誌を読んだりしていましたね。



K.Yさん

骨髄提供を終えて・・・

お疲れさまでした!!

採取部の消毒とガーゼ交換があります。また、身体の状態を確認するため採血をします。その後異常がなければ午前中に退院となります。採取部位(腰)の痛みには個人差があり、程度は様々ですが、1~7日間残ったという方が多く、まれに1ヶ月以上残ることもあります。採取後1週間は傷口を清潔に保ち、過度の運動は避けて下さい。退院後には、コーディネーターから身体の具合を伺うための電話をします。2~3週間後には採取病院での健康診断を受けます。診断の予約は入院中に行います。万一、健康状態に問題がある場合は、担当医が責任を持って診療にあたります。また一定期間を経過した後、財団から入院や術後の経過などのアンケート調査用紙をお送りしますので、ご協力下さい。



9:00 処置



10:00 退院

GOAL!



ワンポイントアドバイス

1週間程度は傷口を清潔に保ち、過度の運動は避けてください。

INTERVIEW

※CPK:血液検査のクレアチンホスホキナーゼ。筋肉や神経細胞が壊れたときに上昇する。病気以外でも、マラソンなど激しい運動の後には値が高くなってしまう。

また、病院によっても対応が異なると思いますが、当院はドナーさんに個室をご用意できない場合が多くあります。空き状況もありますが、患者さんの経済的負担を減らすためでもあります。個室ご希望の方も、ご協力をお願いします。

ドナーさんはお仕事がお忙しい方、育児中の方が多く、どうしても入院前は「仕事を片付けなくちゃいけない」と無理をされてしまうこともあるかと思いますが、それが原因で、術前健診や入院してからの検査で、CPKの値が高くなってしまう場合があります。骨髄バンクではドナーさんの安全を第一に考えなければなりません。だから基準値より高いと再検査や、採取は安全にできるのか検討することになります。ドナーさんのお気持ちはわかりませんが、検査前はなるべく安静にしてください。これもよくあることなのですが、検査の時間に間に合わないからといって、走ってきたりするとそれだけでCPKは高くなってしまうことがあります。病院にはゆっくり歩いてきてください。



長谷川 雄一

(筑波大学附属病院 血液内科)

ドナーさんの負担は大きいですが、よね。多い方ですと自己採血を2回しますから何回も病院に来ていただくことになり、仕事をしている方は大変です。それでも皆さんはボランティア精神が旺盛で、とても協力的であり本当に感心します。私がドナーでしたら大変だなと思いますよ。

ドナーさんは健康な方ですので患者扱いしないように、言葉遣いなど細かい点にまで配慮しています。また、私は術後の負担をなるべく軽減したく、男性の方ですと尿道カテーテルを入れないようにしています。痛みや違和感があるといった方が多いので、女性の場合にはそういったトラブルは少ないですね。ドナーさんに気をつけて欲しいことはコリーネーターさんがしっかりと説明して下さい、医師からの説明は重複しないようにしています。

骨髄移植とさい帯血移植が両方増えているのはすごいことだと思います。ドナーの登録も増加したことや、患者側の移植年齢も65歳位まで可能となり、患者数も増加したからでしょう。より多くの患者さんが助かっているということになりますね。1人でも多くの患者さんが救われるよう、さい帯血と協力してますます発展していくことを願っています。



濱口 元洋

(国立病院機構 名古屋医療センター 血液内科)

日本骨髄バンクの現状

平成18年3月末現在

非血縁者間骨髄移植の状況

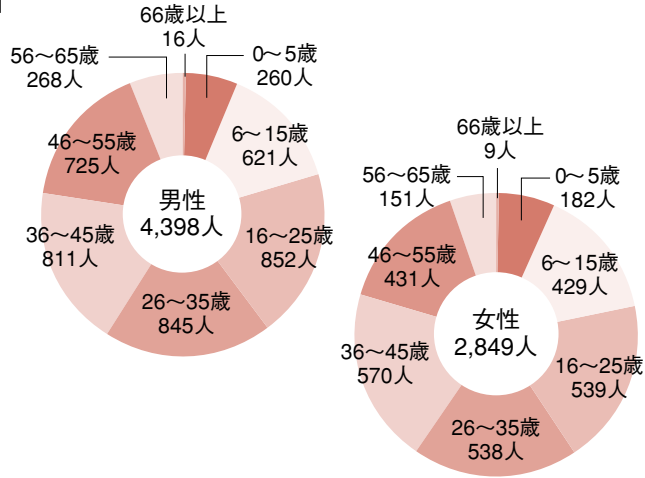
移植患者の状況

7,247人

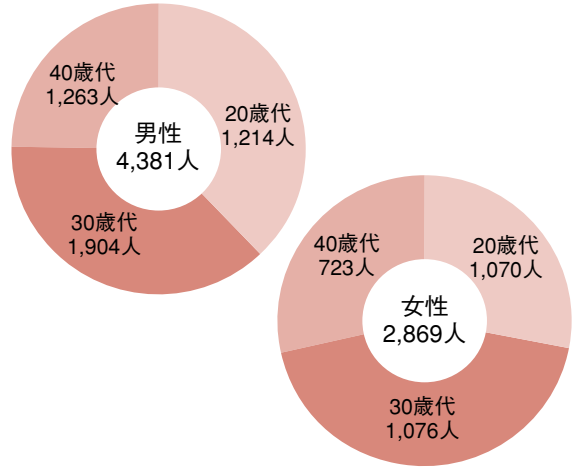
提供者の状況

7,250人

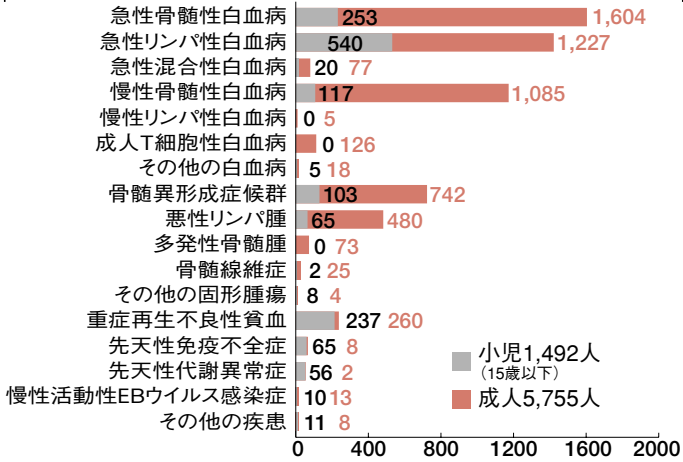
年齢・男女



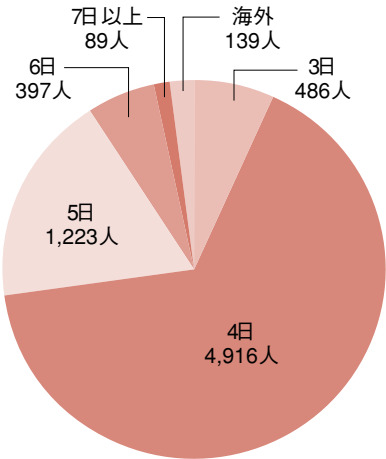
年齢・男女



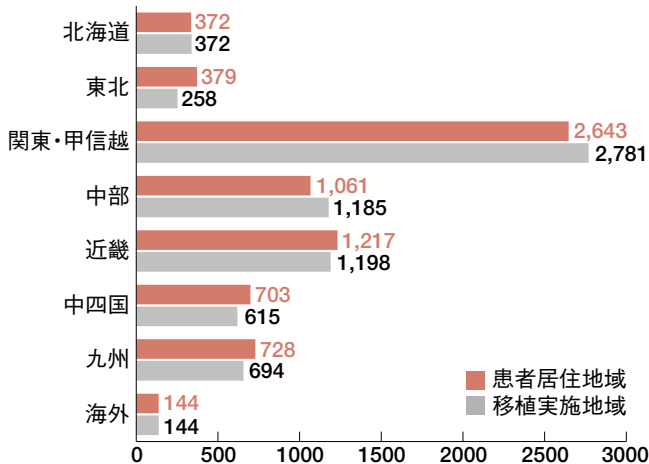
疾患



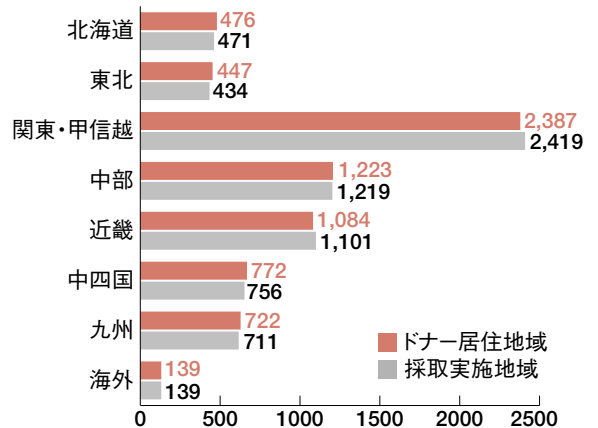
入院日数



居住地および移植実施施設所在地 (患者)



居住地および採取実施施設所在地 (ドナー)

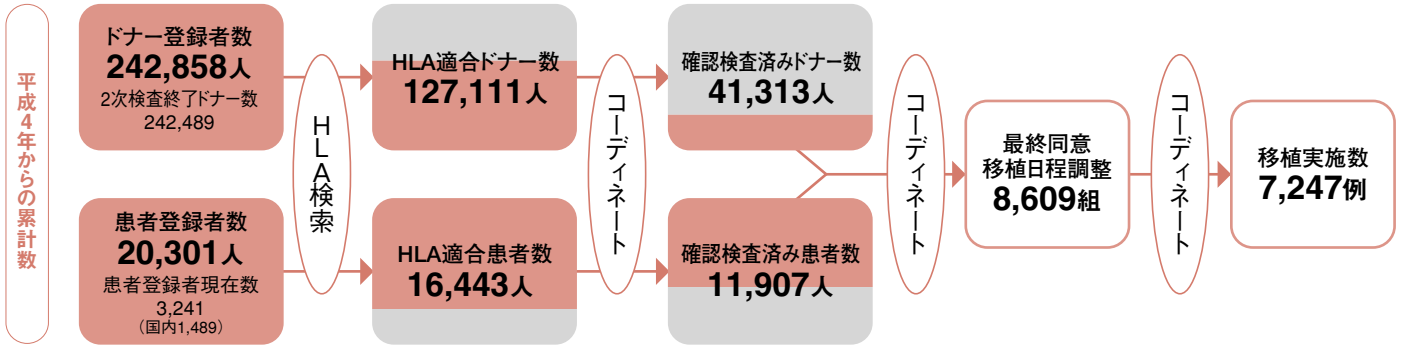


■採取されたものの、移植に利用されなかった骨髄が3件あるため、採取総数は患者総数より「3」多くなっています。

日本骨髄バンクを介しての骨髄移植は、平成18年3月末で7,247例に達しました。平成12年度に年間700例を超えてから横ばい状態が続いてきましたが、平成17年度は過去最多の908例にも上っています。これは、移植成績が向上・安定してきたことに加え、中高齢者への移植適応が拡大され、コーディネート迅速化の取り組みが功を奏したものと考えられます。各種の統計につきましては、ホームページで公開しています。

http://www.jmdp.or.jp/about_us/genkyou/index.html

患者・骨髄提供者(ドナー)のコーディネート状況



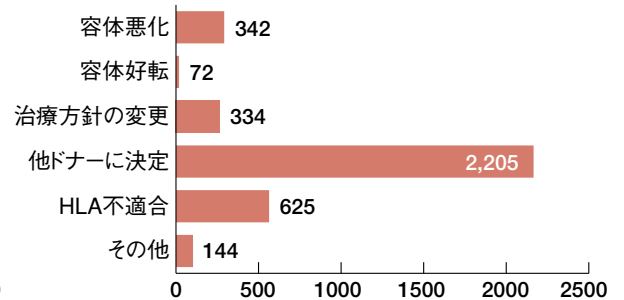
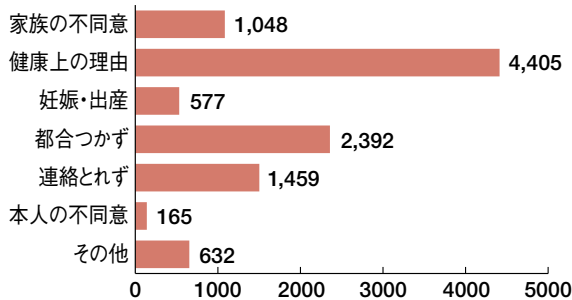
■平成4年からの累計数では、国外を含む全患者のHLA適合率は81.0%で、適合患者の72.4%が確認検査に進んでいます。骨髄の提供者は、ドナー登録者の2.4%で、移植を受けた患者は、患者登録者の35.7%です。平成17年の国内患者のHLA適合率は93.7%でした。

コーディネートの終了理由 合計 18,936件

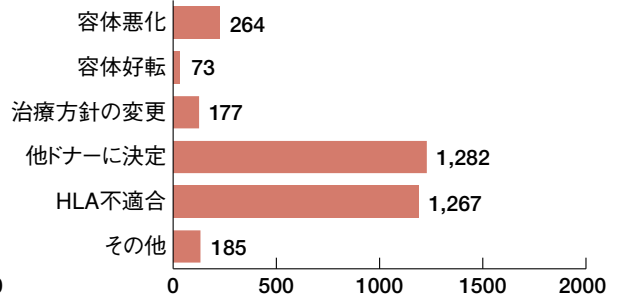
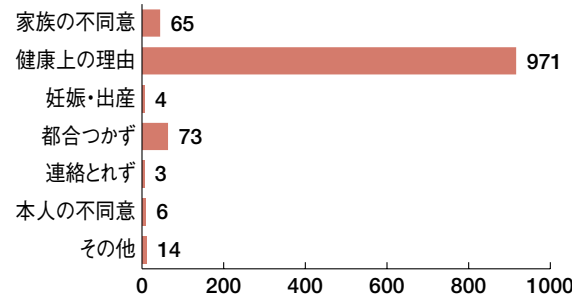
ドナー側の理由

患者側の理由

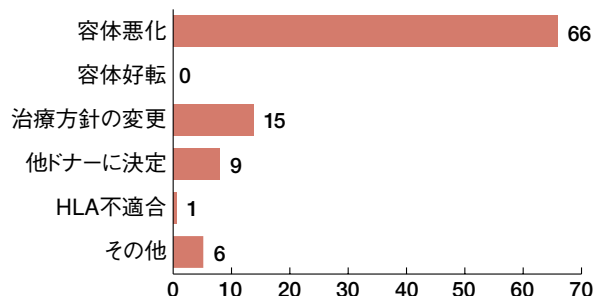
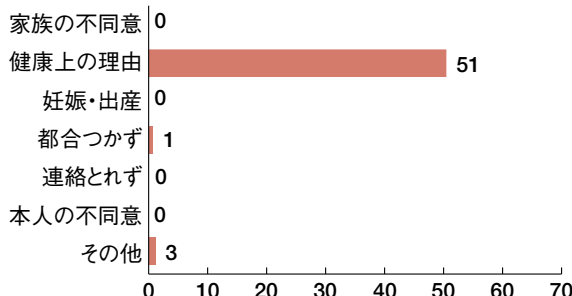
確認検査前 (14,400件)



確認検査実施～ 最終同意面談実施 (4,384件)



最終同意確認後、 骨髄移植に至らず (152件)



■平成17年度(平成17年4月1日～18年3月31日)のドナーコーディネート終了数は、総数で18,936件でした。

1) 患者側の理由で多いのは、最終同意面談実施前までは、併行して進んでいた選定ドナーが同意した結果、他のドナーがルールに従って自動的に終了したケースが多く、最終同意後は容体悪化による終了が大半となっています。

2) ドナー側の理由は、各段階とも健康上の理由が最も多いという結果でした。最終同意面談実施前までは「都合つかず」「家族の不同意」という理由も多くなっています。また、確認検査前では「連絡とれず」が13.7%という結果。健康への留意や住所変更などのご連絡をお願いいたします。



本田美奈子さんがACC広告で復活 テレビやラジオ、ポスターでドナー登録呼びかけ 春には追悼のミュージカルと追悼展を開催

昨年11月、急性骨髄性白血病で亡くなった本田美奈子さん(享年38)が、今年の公共広告機構(ACC)に登場します。ご家族をはじめ関係者の方々のご理解・ご協力で実現したものです。7月からテレビやラジオなどに登場して、ドナーを待っている患者さんのために骨髄バンクへのドナー登録に力を貸してくださいと訴えています。秋にはポスターでも本田さんの笑顔に会える予定です。本田はさん亡くなりましたが、彼女が遺した「オモイ」は、これからも受け継がれていきます。

さらに、4月1日には追悼のミュージカル「レ・ミゼラブル」が東京日生劇場で開催され、本田さんが生前取り組んでいた「LIVE FOR LIFE」事業



務局を通じて、制作の東宝株式会社から当財団に対して収益の全額が寄贈されました。引き続き4月の3日間が「モリアルデー」に充てられ、出演者らのトークによって本田さんを偲びました。

また、本田さんの追悼展が4月22-23日、出身地の埼玉県朝霞市で開催されました。整理券を配布しての入場となり、会場を埋め尽くすほど多くの人が詰め掛けました。舞台では、所属事務所の高杉敬二さんが生前のエピソードを交えたトークやVTRが紹介され、ホールでは本田さんの幼少のころからデビュー後のゆかりの品や写真に、ファンや朝霞市民が見入っていました。

もう一度見たいとの要望が多く、8月4日〜13日に、渋谷東急本店、8月12-13日に、原宿ラフォーレでも追悼展が開催されます。是非、ご覧になつていない方はこの機会にお出かけください。



「レ・ミゼラブル」チャリティープレビューの様子



「IMAGINE 9.11」が全国公演 「友情」がミュージカル化

■IMAGINE 9.11
アメリカ同時多発テロ勃発
報道の裏側に隠れた事実が舞台化

平成13年、米同時多発テロの時、日本では三人の白血病患者は、既に放射線治療と抗がん剤投与に耐え、アメリカのドナーから提供される骨髄液を待ちわびていました。飛行禁止、空港閉鎖の戒厳令の中、彼らのために奔走した人々がいました。

日米の骨髄バンクの「新たな犠牲者は出さない」という奮闘など、様々な人間模様を織り込んだフィクション「IMAGINE 9.11」は、昨夏に東京で初めて公演され、たくさんの人に会場していただきました。要望にお応えして、今年8月23日〜9月10日までの期間、全国公演となります。熊本・福岡・北九州・岡山・大阪・長野・富山・金沢・福井・名古屋・東京の11カ所13公演。出演者は、藤田三保子さん、加納竜さん、刀根麻理子さんの他、9年前に骨髄移植を受けたプロゴルファーの中溝裕子さんも初舞台を踏みます。移植後3年もの間、口からの飲食ができない過酷な闘病生活の中で会得した絵手紙を含め、「元気が出る!」と評判の高い中溝さんの「書の個展」も同時開催します。

詳細は「いちご」
<http://www.imagine911.com>

■「Friendship(友情)」
ミュージカルになってパワーアップ
10月下旬の12日間、東京で公演

舞台「Friendship(友情)」のミュージカル作品として10月18日〜29日、東京・銀座博品館劇場で行われます。演劇は平成11年11月の初演以来、公演回数343回を数え、国内各地はもとよりロサンゼルスや韓国でも好評をもつて迎えられ、骨髄バンクへの支援の輪を広げました。物語は、白血病に冒され抗がん剤の副作用で頭髮の抜けた女子中学生のクラスメイト全員が、同じように頭を丸刈りにし、病氣と闘う彼女を励ますというもので、「友情」の深まりが新たな第一歩を歩き始めます。



韓国公演の様子



テレビ電話システムが好評 無菌室から出ることなく 院内学級、家庭と接続

信州大学医学部附属病院が昨年度に導入した「無菌室内の患児向けインターネット利用のテレビ電話システム」が、第6回インターネット活用教育実践コンクール(文部科学省など主催)で最高の内閣総理大臣賞を受賞し、第28回日本造血細胞移植学会(今年2月)でも学会奨励賞に輝きました。

このシステムは「e-MADO(イーマド)」と名づけられました。無菌病室で治療を受ける場合、感染予防のために外部から隔離された状態になり、数週間の間、外部との交流が制限されます。無菌室にいる低年齢児患者は、「窓」を通して簡単に交流ができるので、心の支えにもなります。子どもが、無菌室から出ることなく院内学級に参加したり、自宅にいる家族との交流ができたりするようになっています。必要経費は同病院で2回のさい帯血移植を受けた子どもの両親から寄付された基金が充てられました。

これまでに、院内学級授業には9人中6人が、自宅との交流には9人中6人が積極的に参加しました。中には、自宅の飼猫の様子を観察したり、花火大会を鑑賞できたりした児童もいました。「e-MADO」を利用できなくなるという理由から「無菌室を出たくない」と言った患児が2名いました。自宅の様子を毎日みせていた最年少使用例の3歳児は、非常に安定した心理状態で無菌室内の生活を送ることができ、使用2週間後にはパソコンの操作法を自分で覚えてしまったそうです。



「e-MADO」を通し無菌室で家族と話す患児

読売巨人軍に骨髄バンクを支援していただくことになりました。きっかけは、高知県で始まった「8万人登録運動」です。野球関係者が中心となっており、ことから、骨髄バンクへの積極的な支援策が決まったものです。7月から東京ドームにて「G-BAND」を販売し、その収益金は骨髄バンクに寄付していただいております。また、同場所でも上原投手のサイン入りポストカード、ティッシュ等の入ったチラシもジャビットくんと一緒に配布し、ドナー登録を呼びかけています。さらにドーム内でも骨髄バンクのPRを行っています。なお、9月30日に行われる骨髄バンク推進全国大会へ来場された方に、抽選で巨人軍選手のグッズをご提供いただくことになっています。



東京ドームで骨髄バンクをPR

プロレスイベント「ハッスルエイド2006」(ドリームステージエンタテインメント主催)が6月17日、さいたまスーパーアリーナで開催されました。「ハッスルで地球を救え！」というサブタイトルがつけられた同大会は、骨髄移植推進財団や「骨髄バンク8万人登録運動」への支援がテーマとなっています。当日はドナー登録会が実施され、埼玉骨髄バンク推進連絡会にご協力いただき、ドナー登録者数は61名となりました。また、けやきひろばに特設ステージが設けられ、さまざまなイベントが開催されました。骨髄移植推進財団の公認ソングを歌うスーパーバンドが「笑顔のゆくえ」を熱唱し、曲の合間には高知から訪れた「骨髄バンク8万人登録運動」の事務局の方が骨髄バンクへの協力を訴えました。



特設ステージで感謝状贈呈



「助かる命を助けよう！」 ジャイアンツ骨髄バンク応援プロジェクト



ハッスルエイド2006開催！ 登録会場にスーパーバンド登場

ハッスル出演者がステージ上でドナー登録を呼びかけたこともあり、イベントを通してファンに骨髄バンク支援が広がりました。

donorsnet

ドナーズネットをリニューアルしました!

<http://www.donorsnet.jp/> (PC・モバイル共通)

「あなたの決意によって、また一人、笑顔が生まれます。」のコンセプトで、心のふれあいや優しい印象で「笑顔」あふれるサイト生まれ変わりました。骨髄提供した方のインタビューなどドナー登録者向けのコンテンツも充実しています。是非一度ご覧下さい。

【モバイルサイトはこちら】
バーコード対応携帯でしたら下のバーコードを読みとるだけでURLが表示されます。



トップページ(PC)

プレゼントのお知らせ

A賞 読売巨人軍 原監督 直筆サイン 10枚

B賞 映画「火火」DVD 5名様

女性陶芸家の草分けであり、骨髄バンクの立ち上げにも力を尽くした神山清子さんの半生を描いた映画「火火」。神山清子役の田中裕子さんは各映画賞で主演女優賞を獲得し、大きな話題となりました。



応募締切 平成18年8月5日(土)まで

応募方法

【PC】<http://www.donorsnet.jp/news28/>

にアクセスし、必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

【携帯】送り先のメールアドレスに present@donorsnet.jp を入力し、件名を「プレゼント応募」として必要事項(郵便番号・住所・名前・年齢・A賞かB賞どちらを希望するか)を明記の上、送信して下さい。

募金のお礼とお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金と皆さまからの寄付によって支えられています。

皆さまの善意をお寄せください

1. 郵便振替

郵便振込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当財団負担となります。

2. 銀行振込

① ☎0120-377-465までお電話ください。
みずほ銀行本支店間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。

② イーバンク銀行
http://www.jmdp.or.jp/reg/help_us/how_to.html
24時間入出金可能なイーバンク銀行をご利用いただけます(手数料無料)。なお、事前に口座の開設が必要です。

3. クレジットカード募金

① お電話で
ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、☎0120-377-465までお名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。

② インターネットから
http://www.jmdp.or.jp/reg/help_us/how_to.html
NTTコミュニケーションズの電子決済サービス「CoDenペイメント」を使用したインターネットの決済サービスです。お申し込みいただいた金額をご使用のカード会社の規約に従って、通常のカードご利用と同様に口座から振り替えさせていただきます。

NEW 預金口座振替依頼書による自動払込利用が可能になりました。詳細は☎0120-377-465までお電話ください。(インターネットからご覧いただくこともできます。)

骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の0.5%が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、年会費として毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円を寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、各VISA付きカードがあります。入会申込書を☎0120-377-465までご請求ください。



骨髄バンクニュース同封の募金協力チラシについて

昨年12月5日発行の日本骨髄バンクニュース第27号に同封した募金協力に関するチラシについて、国民の皆さまからの寄付金が「患者負担金免除制度」に使用されるかのような誤解を受けるとのご指摘がありました。寄付金の用途については、骨髄バンクのホームページをご覧ください。

東京都骨髄データセンターと中央骨髄データセンターが移転

東京都骨髄データセンターと中央骨髄データセンターが6月に辰巳(東京都江東区)へ移転し、これに伴い電話番号も変更となりました。東京都でドナー登録をされた方の内容変更(住所・氏名の変更、登録保留や解除、登録取消など)の手続きをハガキ、ファクス、電話で連絡いただく場合は下記の連絡先までお願いします。なお、変更は中央骨髄データセンターのホームページでも受け付けています。

● 中央骨髄データセンター FAX:03-5534-7520

● 東京都骨髄データセンター
〒135-8639 東京都江東区辰巳二丁目1番67号東京都赤十字血液センター内
東京都骨髄データセンター
TEL:03-5534-7534 / FAX:03-5534-7584

詳細はこちらまで ▶▶ URL:<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

編集後記

特集「3泊4日入院ルポ」は直前になるまでスケジュールが決まらなかったのも、最後まで原稿が出来上がるか心配でした。今回からバンクニュースの制作に携わり、初めての取材ということもあり緊張していましたが、関係者の方々がとても優しく、安心しました。突然の取材の申し入れにもかかわらずたくさんの方にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。こういった皆さまの善意に骨髄バンクが支えられていると実感しました。(夕)

お問い合わせ・資料請求は

日本骨髄バンク

☎0120-445-445 <http://www.jmdp.or.jp/>